

Take action for your Future

福井県立武生高等学校 SSH 研究推進部 No.9 R3.10.15(金)

探究文科 2 年中間発表会

人文社会探究

9月22日(水)に人文社会探究 I 中間発表会を本校第2 化学実験室にて5 限目・6 限目に開催しました。

夏休み中に研究した内容について、パワーポイントにまとめ、3 分間の制限時間の中、研究に至った動機、研究の過程なども含めてわかりやすい・聞きやすいプレゼンを目指し発表を行いました。

順	テーマ
①	昆虫食を広めるにはどうしたらよいか
②	偏見の作用について
③	校則の意義について
④	ふるさと納税のうまく活用する方法
⑤	英語の音読やシャドーイングはスピーキング能力のそれにそれぞれどのような効果があるのか
⑥	子どものコミュニケーションの向上
⑦	武生高校生のジェンダーへの関心はどれくらいあるのか
⑧	今後の教育はどのように進んでいくのか
⑨	武生高校版 SDG s
⑩	ネット恋愛
⑪	キャッチコピーによる経済効果



【参加生徒の振り返り】

・理解が深まったかどうかはどう判断するのか、これは前から言われていたことなので納得だった。今はまだ中間発表の段階なので、これからきちんと目を向けていこうと思った。・今日の発表会を通して、他の班の問いや進み具合がわかって面白かった。やはりゴールがしっかり決まっているグループは方針もはっきりしているし、進み具合も早いような気がした。私達の班は、誰かの役に立つ研究などというわけではなく、自分たちの興味本位で研究を行っているような感じなので、もう少し考え直さなくてはならないところがあるように感じた。班によっては、人を引きつけるような話し方や、見やすいパワーポイント、資料で発表をよりわかりやすく進めていたので、自分たちも工夫したいと思った。・準備していた発表がしっかりとできたと思った。他の班の発表を聞いていて意外とどの班も研究が進んでいて実際に企業などに協力を求めているところもあつたりして私達もこれから校外の方々と接触する機会を設けた方が良いのかなと思った。

【担任の先生方からの感想・助言】

日頃、担当していただいている先生方をはじめ、校長先生や教頭先生も来てくださり、発表に熱心に耳を傾けてくださった。特に田中校長先生の「みんなの研究のゴールはどこにある？」という問いかけは生徒たちの心に深さがあったようだ。発表の内容はまだ不十分な部分があったが、質疑の時間に次々と質問が出たのは素晴らしい。今回は中間発表ということで、まだまだ曖昧な部分が浮き彫りとなったが、もう一度テーマや問いに立ち返り、研究をすすめてもらいたい。